



警告 安全のために

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

- | | |
|---|---|
| <div>警告</div> <div>注意</div> | <p>この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。</p> <p>この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。</p> |
|---|---|

- | | |
|--|--|
| <p>注意を促す記号</p> <div>火災</div> <div>感電</div> | <p>行為を禁止する記号</p> <div>禁止</div> <div>分解禁止</div> |
|--|--|



下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付ける

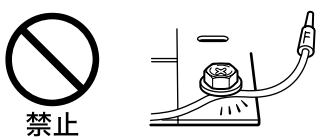
動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に動かず、けがの原因となります。



運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける

運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



取り付け、接続作業をするときには、必ずイグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく

イグニッションキーをONにしたまま作業をすると、バッテリーあがりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの危険があります。

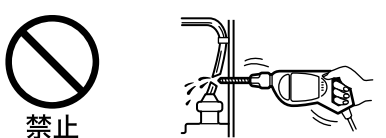


ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。



雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

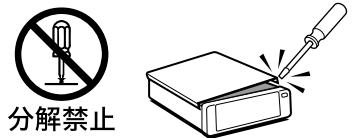
内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



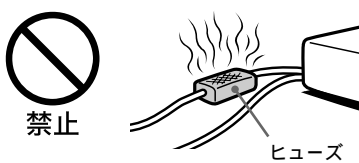
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



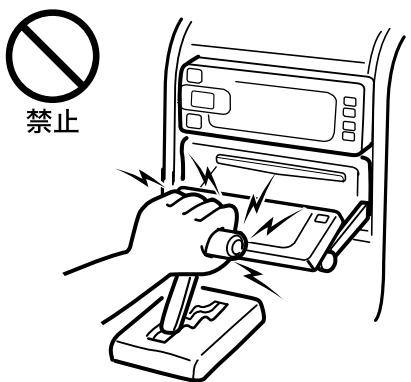
規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



走行中はフロントパネルを開けない

車両によってはフロントパネルが開いていると運転操作の妨げになる場合があります。この場合は、CDの取り出しや交換は必ず車を止めて行って下さい。また、フロントパネルを開けてから走行してください。




ソニー株式会社
〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ
●ナビダイヤル……………0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)
●携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311
●Fax……………0466-31-2595
受付時間:月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

SONY

コンパクトディスクプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

- **警告**
- 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。


取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この取扱説明書に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。



CSX-G44

©1999 Sony Corporation Printed in Japan

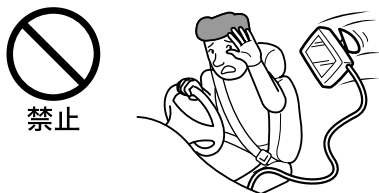
- **注意**
- 下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



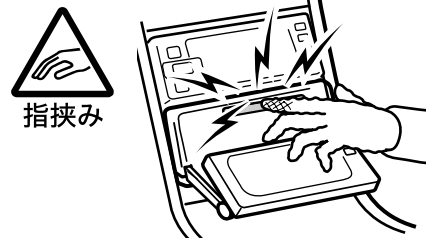
本機の通風口や放熱板をふさがない

通風口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



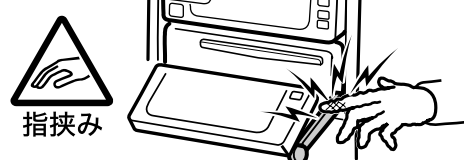
ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



フロントパネルの開閉中は、手を近づけない

手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



MDX-G77RECまたはMDX-G55とCSX-G44を組み合わせてお使いの場合は、片方のディスクを取り出そうとするともう一方のフロントパネルが自動的に閉まりますのでご注意ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

部品の保有期間について

当社ではカーオーディオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。



Sony online <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

主な特長

CDプレーヤー部

- CDをクリアに演奏できる8倍オーバーサンプリングデジタルフィルターおよび1ビットD/Aコンバーター。
- アダプターなしで8cmCDの演奏が可能。
- 強い振動で音とびが起っても、すぐに同じところから演奏を続けるクイックリカバリー機構。

接続したマスターユニットを使って次のような機能を使うことができます。

- 演奏中の曲やCD内のすべての曲を繰り返し演奏するリピート再生機能。
- CD内の曲を順不同に演奏するシャッフル再生機能。
- カスタムファイル機能付きのマスターユニットおよびCDチェンジャーとの接続で、カスタムファイル機能に対応。
- プログラム機能付きマスターユニットとの接続で、プログラム機能に対応。

スペクトラムアナライザー部

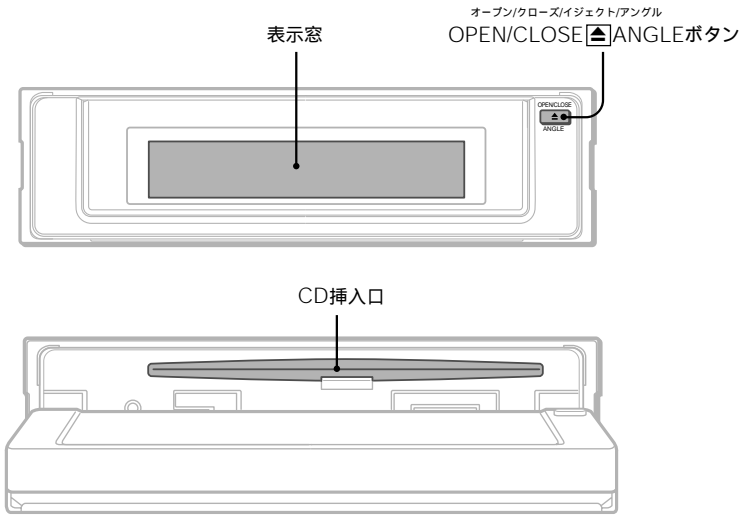
- 刻々と変化する音声信号レベルを、リアルタイムで表示するスペクトラムアナライザー。
- 車内を鮮やかに演出する11種類のスペアナ表示パターン。

その他

- ディスクレイの明るさの切り換えはマスターユニットと連動。(ディマー機能のあるマスターユニットと接続した場合。)
- CDチェンジャーをダイレクトに接続できる、マルチCDシステム対応のソースセクター機能内蔵。

接続するマスターユニットによっては使用できない機能があります。くわしくはマスターユニットの取扱説明書をご覧ください。

各部のなまえ



ご注意

本機の取り扱い

本体表面を傷めないために

本体表面に、殺虫剤やヘアスプレーをかけたり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品を長時間接触させないでください。本体表面が変質・変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

液晶表示について

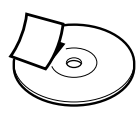
極端な高温または低温のところでは、表示が見づらくなることがありますが、故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、通常表示に戻ります。

CDの取り扱い

CDの汚れや、ゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。



記録面に触れないように持つ。

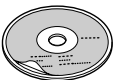


ディスクに紙など貼らない。キズを付けない。

こんなディスクは使わないでください

本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

- 中古やレンタルCDで、シールなどののりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの。またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの。
- レンタルCDでシールなどがめくれているもの。
- お手持ちのCDに飾り用のラベルやシールを貼ったもの。



操作

CDを聞く

- OPEN/CLOSE [triangle] ANGLE ボタンを押して、フロントパネルを開ける。
- CDを入れる。
ディスクが引き込まれ、最初の曲から演奏が始まります。
8cmCDの場合はアダプターを付けずに挿入してください。



すでにディスクが入っているときはマスターユニットのSOURCEボタンをCD再生に切り換えます。

最後の曲の演奏が終わると1曲目の頭から演奏が再開します。チェンジャーが接続されているときは、次のチェンジャーのディスクの再生に切り替わります。

ご注意

- すでにディスクが入っているときに、別のディスクをディスク挿入口に入れないでください。故障の原因になります。
- ラベル面を下にしてディスクを差し込むと、傷つくことがあります。

演奏を止める

マスターユニットのOFFボタンを押す。
再びマスターユニットのSOURCEボタンを押して本機を選ぶと、同じところから演奏が始まります。

OPEN/CLOSE [triangle] ボタンを押す。

フロントパネルが開き、CDが出てきます。
この時、出てきたCDをそのままCD挿入口に放置しておくと、ディスク保護のため約15秒後に自動的に本機内に引き込まれます。

フロントパネルの角度を変える

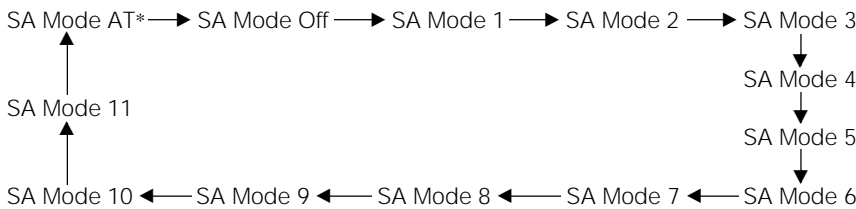
本機のOPEN/CLOSE [triangle] ANGLE ボタンを2秒以上押し続け、好みの角度で離します。
角度は5段階に切り換わります。さらにボタンを押し続けると閉じた状態に戻ります。

ご注意

車のイグニッションキーをLOCKまたはOFFの位置にするとフロントパネルが自動的に閉じた状態に戻りますので、指などをさはみ込まれないようにしてください。

スペクトラムアナライザーの表示パターンを変える

マスタ - ユニットのSAボタンを短く押す。
SAボタンを押すごとにスペアナ表示パターンは次のように変わります。



* すべての表示パターンを順不同に表示

主な仕様

CDプレーヤー部

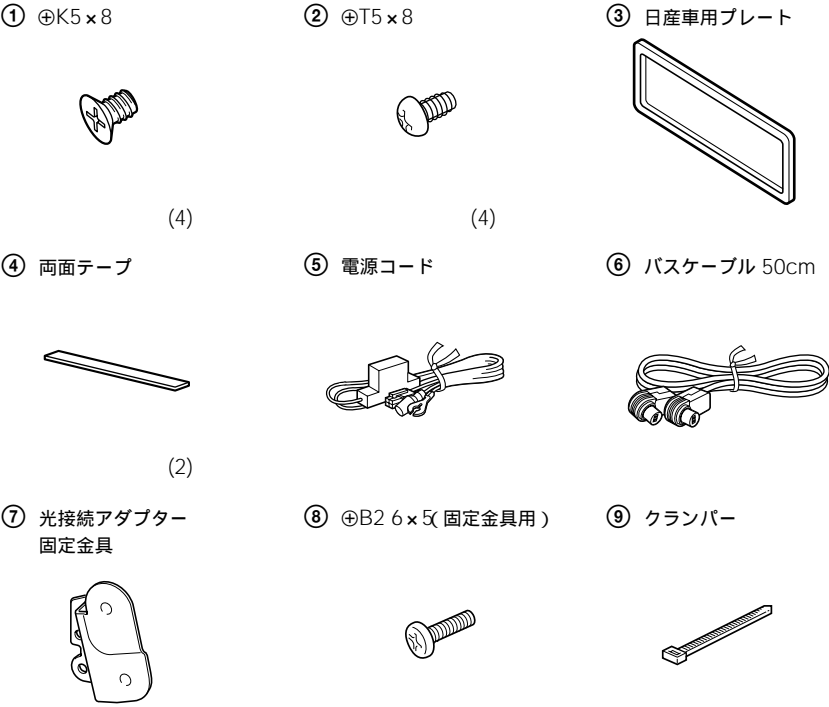
復号化(D/A)	1bitDAC方式	取付寸法	(幅/高さ/奥行き) 約178×50×158mm
ワウフラッター	測定限界以下		(幅/高さ/奥行き)
SN比	100dB	質量	約1.5kg
周波数特性	5Hz～20,000Hz	付属品	取り付け/接続部品(一式) 取扱説明書(一式)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)	別売りアクセサリ	ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1)
消費電流	2A(ディスクローディングまたはイジェクト時)		バスケーブル RCAピンコード付き)
使用温度範囲	-10°C～+50°C		RC-61(1m) RC-62(2m)
出力端子	バス音声出力端子 バスコントロール出力端子 光デジタル出力端子		RCAピンコード RC-63(1m) RC-64(2m) RC-65(5m)
入力端子	バス音声入力端子 バスコントロール入力端子 ローカルリンク入力端子 光デジタル入力端子		光音声用コード RC-103(60cm) RC-97(2m) RC-98(5m)
本体寸法	約178×50×176mm		光接続アダプター XA-D110, XA-D210

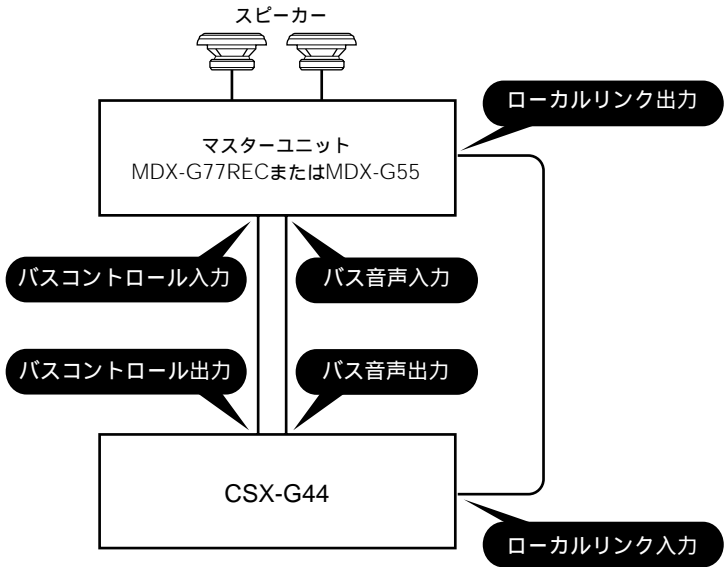
本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

取り付け/接続部品(付属)

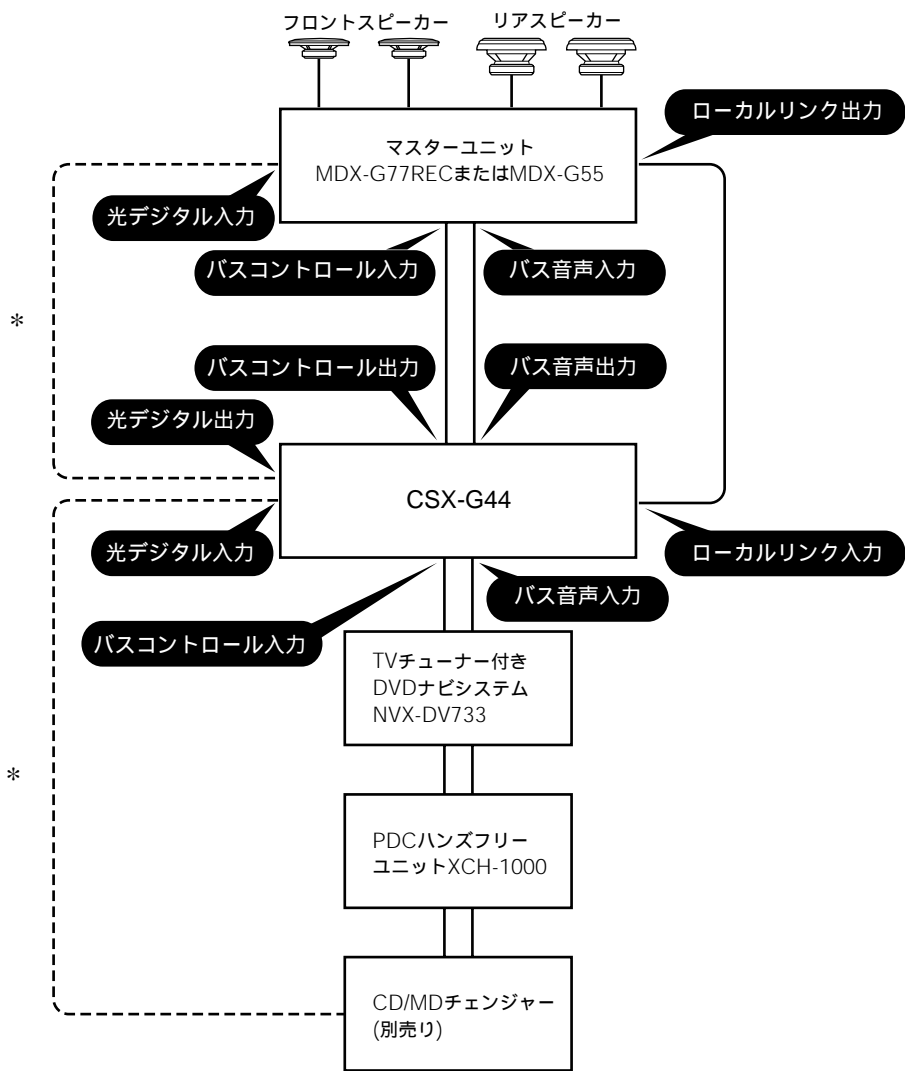


システム接続例

接続例1



接続例2



* 光デジタル接続はマスターユニットがMDX-G77RECの場合のみ可能です。光デジタル接続時は、本機下面の切り換えスイッチをDIGITAL OUT側にしてください。

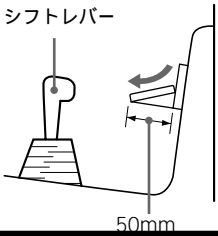
取り付け

取り付け場所

- こんな取り付け場所はお避けください。
- 運転の妨げになる所
 - 同乗者の安全を損なう所
 - グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになる所
 - ほこりの多い所
 - 磁気を帯びた所
 - 直射日光やヒーターの熱風などが当たる所
 - 雨が吹き込んだり、水がかかる所、湿気の多い所

取り付ける前に

フロントパネルの開閉のためには、シフトレバーからフロントパネル部まで図の間隔が必要です。シフトレバーの位置によっては、ディスクの出し入れがしにくい場合やフロントパネル部が当たる場合があります。車のシフト操作の妨げにならないことを確認してください。

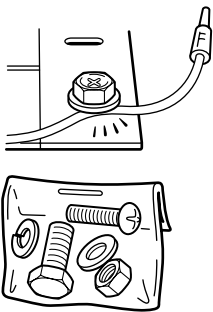


取り付け角度

水平から20度以内で取り付けてください。

ビス・ナット類

- 必ず付属のビス類をお使いください。
- ビスやナットを締めるとき、他の配線を噛みこまないようにご注意ください。
- 車体のボルトやナットを使って共締めやアースをするとき、ハンドルやブレーキ系統のものは絶対に使わないでください。
- 外したビス類は小箱や袋に入れて紛失しないようにしてください。
- 外すビスの種類が多いときは、混同しないようにしてください。

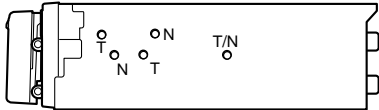


センターコンソールやインダッシュに取り付ける

トヨタ車、日産車、三菱車のほとんどは純正カーオーディオを外して、そのあとに本機を取り付けられます。取り付け可能車はお買い上げ店にお問い合わせください。お車が上記以外のときは、別売りの取り付けキットが必要です。お買い上げ店にご相談ください。

ご注意

純正ブラケットを本機に取り付けるとき、本機側面に刻印されているT(トヨタ車 / 三菱車用)、N(日産車用) マークにブラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属のネジ①または②で取り付けてください。



1 純正カーオーディオを取り外す。

センターコンソールやインダッシュから純正オーディオを取り外し、カーオーディオを取り付けていた純正ブラケットを利用して、本機を取り付けます。

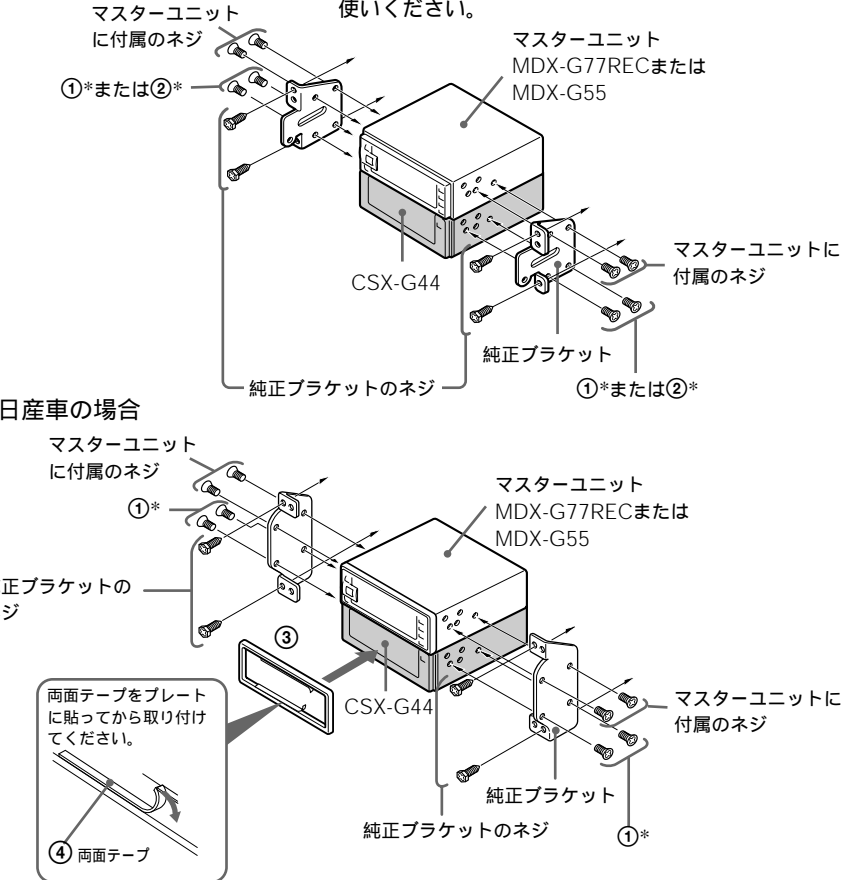
2 本機を取り付ける。

接続例を参照して、センターコンソールやインダッシュに取り付けてください。

ご注意

- 本機の実装の際は必ず付属のネジをお使いください。また、車両側の純正ブラケットを通さずに本体に直接ネジを締め付けると、故障の原因になります。
- 本機のフロントパネル部の表示窓を押したり、ボタンに強い力を加えたりしないでください。
- 本機の上部に物をはさみ込まないでください。

トヨタ車 / 三菱車の場合 ①と②のネジは取り付ける車両により使い分けてください。(イラストはトヨタ車の場合) 三菱車に本機を取り付ける場合は②のネジをお使いください。



* 付属の皿ネジ①またはトラスネジ②で取り付けてください。他のネジを使用すると故障の原因となります。

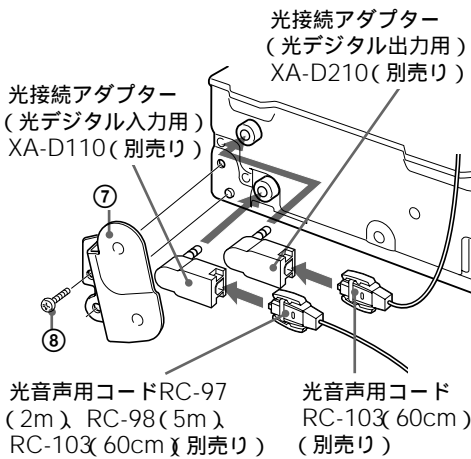
接続 必ず接続先の機器に付属の説明書もあわせてご覧ください。

ヒューズについて

- 電源コードの中間にあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険です。
- 本機の黄色コード(バッテリー電源入力コード)を接続する前に、本機のヒューズ容量が車両側のヒューズ容量(ラジオまたはオーディオ電源)以下であることを確認してください。判断が難しい場合は、お買い上げ店にご相談ください。

光接続アダプターの取り付けについて

マスターユニットMDX-G77RECやソニーバス光デジタルシステム対応のCD/MDチェンジャーと光デジタル接続するときは、光接続アダプター(別売り)に光音声用コード(別売り)の端子を接続してから、本機の裏面にある光デジタル入出力専用のジャックに差し込みます。その後、光接続アダプター固定金具で図のように固定します。



ご注意

- CD/MDチェンジャーを光デジタル接続するときは、本機とMDX-G77RECの間も光デジタル接続する必要があります。
- マスターユニットMDX-G55と接続している場合は、光デジタル接続は使用できません。
- 光音声用コードは半径3cm以下に折り曲げないでください。音声途切れたり、音がとんだりする原因になります。
- 光音声用コード、光接続アダプターは、必ずソニーカーオーディオのオプションアクセサリ品をお使いください。

- 光音声用コード、光接続アダプターを接続するときはコネクター部を確実に差し込んでください。
- 光音声用コード、光接続アダプターの光ケーブル部を傷つけたり、汚したりしないでください。
- ホンダシビック(平成3年9月~7年9月)や車種によっては車両側の金具に当たり取り付けられない場合があります。

電源配線について

車種によっては、車両側の配線が細い(電流容量不足)ため、エンジンアイドリング時にライトやエアコンを動作させると、正常に動作しないことがあります。この場合は、別売りの電源コードRC-39を使って電源配線することをおすすめします。

ショート事故を防ぐために

本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにして、すべての配線をすませてから行ってください。先に電源コードを接続すると、ショートにより感電や製品の破損の原因になります。

取り付けと接続が終わったら

- ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことを確認する。
- マスターユニットのリセットボタンをつまようじの先などで押す。そのまま使用すると誤動作の原因となります。

ご注意

- リセット後は、必ずOPEN/CLOSE ANGLEボタンを押していったんフロントパネルを開閉してから、他の操作をしてください。また、すでにCDが入っている場合は、いったん取り出し挿入し直してから操作してください。リセット後そのまま操作すると、「NO Disc」などのエラー表示が出て正しく動作しないことがあります。
- リセット後CDを挿入する場合は、パネルを開いて10秒以上たってから挿入してください。
- 針のようなもので強く押すと故障の原因となります。
- 本機下面の切り換えスイッチ(出荷時はANALOG OUT)の設定を切り換えたときは、必ずマスターユニットのリセットボタンを押してください。

